

事業名	担い手育成総合事業			担当課名	まちづくり推進課	
総合戦略における基本目標	■ 基本目標 4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出 ■ 方向 1 健康づくり・元気づくりの促進と地域づくりを担う人材の育成					
事業始期	令和元年 6 月		事業終期	令和 6 年 3 月		
	令和元年度 決算 (1 年目)	令和 2 年度 決算 (2 年目)	令和 3 年度 決算 (3 年目)	令和4年度 決算 (4 年目)	令和 5 年度 決算 (5 年目)	計
事業費	16,368千円	8,546千円	5,334千円	3,766千円	3,726千円	37,740千円
交付金充当額	8,184千円	3,640千円	2,667千円	1,882千円	1,862千円	18,235千円
事業の目的	一人ひとりが地域課題に関心を持ち、みんなで地域づくりをするという意識を持つことで、将来的に地域で活躍する複数人のキーマンを育成する。					
事業概要	1. 事業概要 北広島町は長期総合計画において当町がめざすまちの将来像として『新たな感動・活力を創る北広島～ひとのチカラがあるれるまち～』を掲げている。そして重点方針を『地域に根付き、未来を担うひとづくり』としている。「きたひろ学び塾～With」は『「学びから始まるひとづくり」の活動による、持続可能な地域社会』を理念に、「次世代を担う地域リーダーの育成」に向けた取り組みとして令和元年度から本格稼働した。 (1)事業のねらい 「学びから始まる人づくり」の活動による 持続可能な地域社会 これからもずっと元気な「きたひろしま」で在るために… 持続可能なコミュニティの実現 学ぶことを通じて地域の課題を知る。 地域に関心を持つことが、地域の活性化につながる第一歩となる。 守り、はぐくみ、伝えたい 地域への愛着醸成 住民が自ら行動することにより、地域の新しい魅力を発見したり作り出すことができる。 それにより地域のことがもっと好きになる。 みんなで持ち寄る知恵とワザ、みんなで取り組む「まちづくり」 多様なつながりの創出 『きたひろ地域づくりプラットフォーム』すなわち人や情報を結びつける土台を形成することにより、『自発的な地域づくり』の仲間の輪が広がる。 (2)事業のねらいと効果 地域への関心の向上と 地域課題の共有 ■地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。 ■地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。 地域における取組みの 活性化 ■学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。 ■『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取組みを活性化させる。 横断的な取組みの推進 ■公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。 ■職員間で情報を共有する。 人のつながりと 情報共有の場の創出 ■民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。					

事業概要	2. 事業の特色 「きたひろ学び塾～With」は長期総合計画の5つの施策分野に基づき、「5学部6プログラム」で構成されている。この5つの学部のいずれかに各支所や消防本部を含む全課が振り分けられ、行政組織全体での取り組みを展開している。 ■「きたひろ学び塾～With」は全ての部署が連携して行う事業である。 ■学部運営やプログラムの企画・運営において、現在の所属課に囚われず、これまでの業務で培ってきた知識や技術を活用できる場となる。 ■官民連携にとどまらず、課や職員間の連携による「協働のまちづくり」が期待できる。 ■「きたひろ学び塾～With」はそれらの人と知識・技術・情報をつないでいく共有の場(プラットフォーム)の役割を果たすことができる。																																																																									
重要業績評価指標（KPI）	1. 人材育成プログラム受講者の満足度の向上 ※数値は初年度を基準とする増加ポイントを表す。 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1 年目)</th><th>令和 2 年度 (2 年目)</th><th>令和 3 年度 (3 年目)</th><th>令和 4 年度 (4 年目)</th><th>令和 5 年度 (5 年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>-</td><td>60%</td><td>10%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>80%</td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>91.9%</td><td>8.10%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td><td><u>-7.0%</u></td><td><u>93%</u></td></tr></table> 2 年目に目標の上限値に達成しているため、3 年目以降は0.0%で表す。 2. 地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加数 ※数値は計画時点を基準とする増加分を表す。 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1 年目)</th><th>令和 2 年度 (2 年目)</th><th>令和 3 年度 (3 年目)</th><th>令和 4 年度 (4 年目)</th><th>令和 5 年度 (5 年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>200人</td><td>50人</td><td>100人</td><td>150人</td><td>0人</td><td>50人</td><td>350人</td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>81人</td><td>24人</td><td>-25人</td><td>15人</td><td>64人</td><td><u>159人</u></td></tr></table> 3. 地域活動団体等における活動実施件数の増加 ※各年度数値は計画時点を基準とした増加分を表す。 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和元年度 (1 年目)</th><th>令和 2 年度 (2 年目)</th><th>令和 3 年度 (3 年目)</th><th>令和 4 年度 (4 年目)</th><th>令和 5 年度 (5 年目)</th><th>KPI増加分 (累計)</th></tr><tr><td>目標値（増加分）</td><td>4件</td><td>6 件</td><td>8 件</td><td>10件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>34件</td></tr><tr><td>実績値（増加分）</td><td>-</td><td>6 件</td><td>-1件</td><td>10件</td><td>19件</td><td>-6件</td><td><u>28件</u></td></tr></table>		KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)	目標値（増加分）	-	60%	10%	10%	0%	0%	80%	実績値（増加分）	-	91.9%	8.10%	0.0%	0.0%	<u>-7.0%</u>	<u>93%</u>	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)	目標値（増加分）	200人	50人	100人	150人	0人	50人	350人	実績値（増加分）	-	81人	24人	-25人	15人	64人	<u>159人</u>	KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)	目標値（増加分）	4件	6 件	8 件	10件	5 件	5 件	34件	実績値（増加分）	-	6 件	-1件	10件	19件	-6件	<u>28件</u>
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)																																																																			
目標値（増加分）	-	60%	10%	10%	0%	0%	80%																																																																			
実績値（増加分）	-	91.9%	8.10%	0.0%	0.0%	<u>-7.0%</u>	<u>93%</u>																																																																			
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)																																																																			
目標値（増加分）	200人	50人	100人	150人	0人	50人	350人																																																																			
実績値（増加分）	-	81人	24人	-25人	15人	64人	<u>159人</u>																																																																			
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)	KPI増加分 (累計)																																																																			
目標値（増加分）	4件	6 件	8 件	10件	5 件	5 件	34件																																																																			
実績値（増加分）	-	6 件	-1件	10件	19件	-6件	<u>28件</u>																																																																			
実績値累計の 目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の 解決策（案）)	(KPI) 1.人材育成プログラム受講者の満足度の向上 当初より住民ニーズに沿っており、高評価のまま推移している。 (KPI) 2 .地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加数 きたひろ学び塾から派生した団体の会合が継続している。 (KPI) 3 .人材育成プログラム受講者の満足度の向上 本事業により得た学びを地域で実践しようという動きがある。																																																																									
令和 5 年度の事業評価 (町による内部評価と判定理由)	1. 地方創生への効果 <table><tr><td></td><td>地方創生に効果があった。</td></tr></table> 一部のKPIが目標間に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる。 2. 自立化の進捗状況 <table><tr><td></td><td>実施計画に記載された自立化の見込：なし</td></tr></table> 自主財源等確保の目処はたっていない			地方創生に効果があった。		実施計画に記載された自立化の見込：なし																																																																				
	地方創生に効果があった。																																																																									
	実施計画に記載された自立化の見込：なし																																																																									
課題・問題点	・実際に地域で活動を行っている受講生の活動実績を追跡する必要がある。 ・学びが受講生にとどまり、地域活動に結びつかない。地域活動への足がかりとして、行政サイドが受講生の活動を後押しできる「きっかけ作り」が必要である。																																																																									

令和5年度地方創生推進交付金対象事業（評価シート）

地域再生計画（第55回認定）：高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト				担当課名	学校教育課
総合戦略における 基本目標	■ 基本目標2 キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進 ■ 方向2 ふるさとを愛する心と夢を育む教育の推進					
事業始期	令和3年4月		事業終期	令和7年3月		
	令和3年度 決算 (1年目)	令和4年度 決算 (2年目)	令和5年度 決算 (3年目)	令和6年度 当初予算 (4年目)		計
事業費	18,579千円	16,706千円	18,652千円	22,156千円		57,514千円
交付金充当額	8,697千円	8,352千円	8,581千円	11,078千円		28,011千円
事業の目的	持続的な地域活性化のため地元高校と地域の協働による魅力ある教育環境をつくり、地域資源を活かした豊かな学びを創出し、地域の将来を担う子どもを育成する。					
事業概要	1. 事業概要 1. 地域みらい留学 (1)地方の魅力ある教育環境や受入体制について都市部等へのプロモーションを展開 (a) チラシ・パンフレットの作成、WEBページの作成、PR動画の作成等 ●WEB・広報宣伝費 480,270千円 (2)都市部等で中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」を開催 (a) (一財)地域・教育魅力化プラットフォームが東京・大阪・名古屋・福岡で開催する「地域みらいフェスタ」への開催負担金等 ●開催負担金 880,000円 ●フェスタ参加経費等 263,400円 (3)都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会を実施 (b) 都市部の中学生親子が各高校を回るためのバスの借上げ経費等 ●企画運営に係る業務委託料 161,970円 2. 高校×地域 (2)地域と高校をつなぐことに特化した人材や専門スキル・ノウハウを持つNPO法人等を「魅力化コーディネーター」として育成・配置 (a) 専門人材の雇用又はNPO法人等への業務委託 ●賃金 109,480円 ●コーディネート業務委託料 1,200,000円 (3)地域住民の参画による課題先進地域をフィールドとした最先端の課題解決型学習、ふるさと教育やキャリア教育を実施 (a) 高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」や「多世代対話型交流学習」、「大学企業連携事業」「グローバルの視点からの課題解決型学習」の実施 ●実施経費（需用費等） 621,379円 ●児童生徒輸送費 146,560円 (b) 高校生による地域での就業観を醸成する「インターンシップ」の実施 ●児童生徒輸送費 146,500円 (c) 高校での地域との協働による学びにしっかり接続し、より充実していくため、小中学校での「ふるさと/キャリア教育」の推進 ●実施経費（需用費等） 422,209円 ●児童生徒輸送費 278,840円 (6)放課後等を利用し、地域の多様な大人が関わりながら、幅広い学力層の生徒の学習機会を提供（「公営塾」） ●公営塾運営委託料 4,520,000円 ●人件費 269,670円 (8)地域・学校・行政が連携し地域外生徒を受入れる体制を整備 (a) 市町村の交流・研修施設等の地域資源を最大限に活用した寮の運営 ●寮を運営する団体への補助金 7,392,000円 (9)高校や地域の個性に応じた魅力と特色ある教育活動を応援するための財源「地域ファンドレイズ」の検討・導入 ●検討経費 100,000円 3. 卒業生関係人口化 (1)地域内外大学生・社会人との共創「若者共創キャンプ」を実施 (a) 地域内外の大学生・社会人が、世代や立場を超えて、地域の未来をよりよくしていくアイデアやアクションプランを検討・実行を通じてよりよい地域の未来をつくる担い手の育成・挑戦機会の提供 ●講師謝金 170,000円					

事業概要	2. 事業の特色 学校・地域住民・行政が三位一体となって地域の諸活動に参画し、地域の特色を活かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、地域コミュニティの活性化を図る。 ■都市部等に向けて地域の魅力ある教育環境や受け入れ体制のプロモーションを展開 ■都市部等で中学生親子に向けた合同説明会への参画 ■都市部等の中学生親子を対象にした各高校での学校説明会・個別説明会の実施 ■高校生が地域づくりに参画・挑戦する「地域課題解決型学習」等の実施により生徒の満足度が高まる学校生活 ■高校生による地域での就業感を醸成する「インターンシップ」の実施 ■グローバルな視点を持ち地域課題解決に取り組む高校生育成事業の実施																																																							
重要業績評価指標 (KPI)	1. 地元高等学校数 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和3年度 (1年目)</th><th>令和4年度 (2年目)</th><th>令和5年度 (3年目)</th><th>令和6年度 (4年目)</th><th></th><th></th></tr><tr><td>目標値(維持)</td><td>-</td><td>3校</td><td>3校</td><td>3校</td><td>3校</td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値(変動分)</td><td>-</td><td>3校</td><td>3校</td><td>3校</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2. 「将来、北広島町に貢献したい」と思っている子どもを持つ保護者の割合 <table><tr><th>KPI</th><th>事業開始前 (計画時点)</th><th>令和3年度 (1年目)</th><th>令和4年度 (2年目)</th><th>令和5年度 (3年目)</th><th>令和6年度 (4年目)</th><th></th><th></th></tr><tr><td>目標値(増加分)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>50%以上</td><td>50%以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績値(増加分)</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>29%</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※長期総合計画の成果指標に基づき質問内容を変更した。								KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)			目標値(維持)	-	3校	3校	3校	3校			実績値(変動分)	-	3校	3校	3校				KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)			目標値(増加分)	-	-	-	50%以上	50%以上			実績値(増加分)	-	-	-	29%			
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)																																																			
目標値(維持)	-	3校	3校	3校	3校																																																			
実績値(変動分)	-	3校	3校	3校																																																				
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)																																																			
目標値(増加分)	-	-	-	50%以上	50%以上																																																			
実績値(増加分)	-	-	-	29%																																																				
実績値累計の 目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の 解決策(案))	(KPI) 1. 地元高等学校数 広島県教育委員会が県立高校の統廃合を検討する基準を定めているが、地元県立高校の特色を生かし、魅力ある学校づくりの取り組みを続け存続を達成している。 (KPI) 2. 将来、北広島町に住みたいと思う中学校3年生の割合 長期総合計画の成果指標に基づき、令和4年度から質問項目を「住みたいと思う」から「貢献したいと思っている」に変更した。その学校評価アンケートの結果によると、「将来北広島町に貢献したいと思っている」という質問の回答は29%となっている。肯定的な回答が多い地域では小中高の交流活動や地域交流が児童生徒の刺激になっていると考えられる。地域と学校の協働による教育環境の向上が地域に貢献したい気持ちにつながっていると考えられるため、町全域での取り組みを実施していく。																																																							
令和5年度の事業評価 (町による内部評価 と判定理由)	1. 地方創生への効果		地方創生に効果があった。 一部のKPIが目標間に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる。																																																					
	2. 自立化の進捗状況		実施計画に記載された自立化の見込：あり 見込みを下回って自主財源等を確保している																																																					
課題・問題点	・芸北分校は、県内外からの入学者数は増加傾向にある一方、芸北地域の生徒数の減少が見込まれることから、引き続き他地域の生徒からも選ばれる学校となるように地域の特色を生かした魅力づくりが必要である。 ・千代田高校は、千代田中学校から千代田高校への進学率が数年間40%代伸び悩んでいる。引き続き、地元中学校から選ばれる学校になるための積極的な魅力づくりに向けた取り組みが必要である。 ・【知与塾】入塾生へのアンケート調査の結果、肯定的な回答が多く、生徒の進学に対する意識は高まってきている。早期の学習習慣の確立に向けて、引き続き1年生からの受講生を確保する。千代田高等学校へのプラスアルファの付加価値をつけることにより、地元中学校の進学率62%以上の確保と学校規模の安定的な確保を図るとともに、地域の次世代を担う人材を確保することが課題である。																																																							

令和５年度地方創生推進交付金対象事業（評価シート）

地域再生計画（第67回認定）：農業振興によるまちづくり推進事業

事業名	農業振興によるまちづくり推進事業			担当課名	農林課
総合戦略における基本目標	■ 基本目標 1　心響くしごとづくりと産業の魅力発信 ■ 方向 3　農林畜産分野のブランド化と人材の確保				
事業始期	令和５年４月		事業終期	令和８年３月	
	令和５年度 決算 （１年目）	令和６年度 当初予算 （２年目）	令和７年度 （３年目）		計
事業費	4,990千円	5,000千円			9,990千円
交付金充当額	2,494千円	2,500千円			4,994千円
事業の目的	農業者、地域住民、行政等が地域農業が抱える課題解決に向けて協働して取り組む目的、方向性を示す将来ビジョンを策定するとともに将来ビジョンの実現に取り組む官民連携型のコンソーシアムを構築する。特に、「米どころ北広島町」のブランディングを基軸に観光、教育、地域づくりなど幅広い分野での地域活性化を図ることによる地方創生を実現する。				
事業概要	1. 事業概要 ①将来像の実現に向けた官民連携体制の構築 ・官民が連携する「将来ビジョン策定委員会」の立ち上げ（庁舎内関係課及び、関係団体と連携した検討体制を構築） ・専門人材の活用により「農業振興によるまちづくり」が目指す将来ビジョンの策定（官民が協働して取り組む理念や具体的な事業内容、ロードマップなどを明確化） ②「米どころ北広島町」のブランディング ・ブランディング事業に取り組む官民が連携したコンソーシアムの構築 ・マーケティング等の専門人材の活用による北広島町産米のブランド化の推進 ・町内産ブランド米の発信・販売促進 ・農業を「する」「楽しむ」「学ぶ」といった要素を活用した都市住民（消費者）との交流機会の創出による関係・交流人口の拡大 将来ビジョン ■アンケートやイベントを通じて、町民により決定 ■町民が目指しやすいKPI ■町民を巻き込み、町民により継続される事業に。 ■長期総合計画、総合戦略などをベースに、町民が読みやすく、わかりやすい資料に。 シビックプライドの醸成 A 若い世代 B 農業従事者 まちづくり関連者 お米・農業・まちづくりの価値を知る 農業振興＝まちづくりを知る まちづくりに参画する 事業費経費内訳 【「農業振興によるまちづくり」の将来ビジョン策定】業務委託 町内の関係団体・民間企業・関係者に対する「農業振興によるまちづくり」に関する学習会の開催　825,000円 将来ビジョン策定に対する理解と合意に向けた町内関係団体・民間企業・関係者検討会議の開催　220,000円 町民（農業者等）を対象とした将来ビジョン策定に向けたワークショップの開催　440,000円 将来ビジョン策定委員会開催　1,018,600円 将来ビジョン策定業務委託費　2,486,000円				

事業概要	2. 事業の特色							
	・地域再生法の地線措置によらない独自の取組 （事業名）　第2回全日本お米グランプリin北広島町開催 （事業概要）全国の米生産者が参加する米コンテストを開催し、全国の生産者が交流する場を創出し、良質米の生産に取り組む生産者が切磋琢磨することで米の品質向上、消費拡大を促進する。							
重要業績評価指標（KPI）	1. 将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数							
	KPI	事業開始前 （計画時点）	令和５年度 （１年目）	令和６年度 （２年目）	令和７年度 （３年目）			
	目標値（増加分）	0	0件	2件	3件			
	実績値（増加分）	-	1件					
	2. 全日本お米グランプリin北広島町への応募点数							
	KPI	事業開始前 （計画時点）	令和５年度 （１年目）	令和６年度 （２年目）	令和７年度 （３年目）			
	目標値（増加分）	363	50件	50件	50件			
	実績値（増加分）	-	-86件					
	3. 農業の担い手確保（新規就農者）の人数							
	KPI	事業開始前 （計画時点）	令和５年度 （１年目）	令和６年度 （２年目）	令和７年度 （３年目）			
	目標値（増加分）	14人	2人	2人	2人			
	実績値（増加分）	-	3人					
	（KPI） 1. 将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数							
	令和５年度事業で将来ビジョンを作成したため令和6年度以降新たな取り組みを創出することとしていたが農業を通じた都市住民との交流に取り組む団体が新たな活動を開始した。							
	（KPI） 2. 全日本お米グランプリin北広島町への応募点数							
	全日本お米グランプリin北広島町への出品点数の増加を図ることとしていたが東日本を中心に干ばつや降雨災害等により米が不作となり出品のキャンセルなどもあり出品数が拡大できなかった。							
	（KPI） 3. 農業の担い手確保（新規就農者）の人数							
	計画時点では施設園芸による新規就農者を2名見込んでいたが養鶏による新規就農者が1名あり実績値3名となった。							
実績値累計の実績値累計の目標達成・未達理由	（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））							
令和５年度の事業評価（町による内部評価と判定理由）	1. 地方創生への効果		地方創生に非常に効果的であった					
	2. 自立化の進捗状況		実施計画に記載された自立化の見込：あり					
	コンソーシアムの創設を令和6年度に行うため							
課題・問題点	将来ビジョンの達成には、行政内の横断的な取り組みを強化することから、農林課、商工観光課が連携する組織づくりに取り組んでいる。米をキーワードに農業振興、観光振興を両輪で推進するためには、核となるコンソーシアム組織を構築することが必要である。							

地域再生計画（第68回認定）：目的観光地としての食（白米）魅力発信事業

重要業績評価指標
(KPI)

1. 北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのアクセス数

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)			
目標値(増加分)	3,099PV	619PV	619PV	619PV			
実績値(増加分)	-	0PV					

2. 北広島町SNSのフォロワー数

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)			
目標値(増加分)	6,200人	155人	310人	310人			
実績値(増加分)	-	0人					

3. SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)			
目標値(増加分)	3件	90件	180件	180件			
実績値(増加分)	-	0件					

4. SNS発信講習会に参加した延べ住民人数

KPI	事業開始前 (計画時点)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)			
目標値(増加分)	0人	30人	30人	30人			
実績値(増加分)	-	0人					

実績値累計の
実績値累計の
目標達成・未達理由

(達成または未達に
なった理由、及び未
達の場合は今後の
解決策(案))

(KPI) 1. 北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのア
クセス数

R 5 年度については計画の策定にとどまったため

(KPI) 2. 北広島町SNSのフォロワー数

R 5 年度については計画の策定にとどまったため

(KPI) 3. SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数

R 5 年度については計画の策定にとどまったため

(KPI) 4. SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数

R 5 年度については計画の策定にとどまったため

令和5年度の事業評価

1. 地方創生への効果

地方創生に効果があった

北広島米につながる北広島町の産品や観光資源の事業者を伴走、魅力的な産品・コンテンツの開
発・磨き上げを行い、町へ誘客するプロモーションを展開。あわせて、北広島町観光推進組織構
築アクションプラン策定を予定。

2. 自立化の進捗状況

実施計画に記載された自立化の見込：なし

事業推進体制の構築について現状未解決

課題・問題点

第3次北広島町観光振興まちづくり計画における北広島町の現状と課題の整理および、観光関連
事業者対象ヒアリング実施結果(10社)を踏まえ、北広島町観光推進組織に求められる機能の洗い
出しを行い、観光地域づくり法人(DMO)の登録を見据えた要件や地域商社機能を兼ね備えた地域
企業のDXを牽引し、新商品開発やサービス向上の伴走支援の機能を実装する支援組織の構築に取り
組む。